

臨床研究「体外受精における受精方法の違い（媒精と顕微授精）が凍結融解単一胚盤胞移植後の妊娠成績および出産予後に与える影響」へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある患者様で、個人が識別される診療情報等を研究に利用されることを希望されない場合は、以下の連絡先にお問い合わせください。同意されない場合でも、診療上の不利益が生じることは一切ありません。

■ 研究の対象期間と対象となる患者様

2016年3月19日から2023年8月29日までに亀田総合病院、あるいは、亀田 IVF クリニック幕張において凍結融解単一胚盤胞移植を行った方

■ 研究課題名

「体外受精における受精方法の違い（媒精と顕微授精）が凍結融解単一胚盤胞移植後の妊娠成績および出産予後に与える影響」

■ 当院の研究責任者(所属)

医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 亀田 IVF クリニック幕張
責任研究者 亀田 IVF クリニック幕張 生殖医療科 川井清考

■ 当院の試料・情報の管理責任者(所属)

医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 亀田 IVF クリニック幕張
責任研究者 亀田 IVF クリニック幕張 生殖医療科 川井清考

■ 本研究の目的・方法・研究実施期間

体外受精で卵子と精子を受精させる方法には媒精と顕微授精の二つあります。媒精は精子が自力で卵子の中に入る方法、顕微授精は精子を卵子の中に直接入れる方法になります。体外受精を検討している患者さんに対して、受精方法の違いが妊娠率と出産率におよぼす影響についての情報を提供する必要があります。当院の臨床データを基に、媒精と顕微授精の妊娠率と出産率を算出して、その結果を海外の雑誌に投稿いたします。そのため、電子カルテに記載されている凍結融解単一胚盤胞移植の臨床成績データを利用させていただきます。

研究実施期間：2025年2月21日から2026年12月31日まで

■ 研究に用いる試料・情報の項目

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、個人情報には完全に削除しプライバシーの保護には細心の注意を払います。

採卵時の夫婦年齢、AMH（抗ミュラー管ホルモン）、BMI（ボディマス指数）、不妊原因、移

植胚のグレード、胚移植結果、化学的妊娠率、臨床的妊娠率、流産率、出産率、出産児数、男女比、出生児体重、在胎週数、先天異常率

■ 他の研究機関への提供・提供方法

他の研究機関への試料・情報の提供はありません。

■ 個人情報の取扱い

研究で利用する情報から、患者様を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は論文・学会等で発表を予定していますが、その際も、患者様を特定できる個人情報は一切利用しません。

■ お問い合わせ先

担当者（所属）：川井清考（亀田 IVF クリニック幕張 生殖医療科 院長）

電話：043-296-8141（代） FAX：043-296-8236